



2023年3月31日

各位

会社名 株式会社メディネット
代表者名 代表取締役社長 久布白 兼直
(コード番号:2370 東証グロース)
問合せ先 取締役 経営管理部長 落合 雅三
(TEL 03-6631-1201)

(開示事項の変更)

第三者割当による新株予約権の発行に関する資金使途及び支出予定時期の変更について

当社は、2023年3月31日付の当社取締役会において、2021年9月24日付「(開示事項の変更)第三者割当による新株予約権の発行に関する資金使途及び支出予定時期の変更について」ⁱ(以下「2021年9月開示」)において開示いたしました「調達する資金の具体的な使途」、及び、2022年12月23日付「(開示事項の変更)京都府立医科大学との共同研究の終了並びに第三者割当による新株予約権の発行に関する資金使途及び支出予定時期の変更について」ⁱⁱ(以下「2022年12月開示」)において開示いたしました「調達する資金の具体的な使途」、並びに、2020年8月21日付「第三者割当による第17回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行に関するお知らせ」ⁱⁱⁱ(以下「2020年8月開示」)において開示いたしました「調達する資金の具体的な使途」の支出内容及び支出予定時期を変更することを決議いたしましたのでお知らせします。

資金使途の変更内容は以下のとおりであります。

1. 2021年9月開示において開示した「調達する資金の具体的な使途」の変更内容

(1)第14回新株予約権

<変更前>

調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
(i) 再生医療等製品(ATL-DC-101)の開発費	3	2019年7月～2019年12月
(ii) 慢性心不全治療に用いる再生医療等製品の実用化に向けた共同研究費用	654	2020年1月～2022年9月
(iii) 再生医療等製品(糖鎖修飾改変T細胞等)の開発費	216	2019年7月～2023年3月
合計	873	

※2021年9月開示において開示した「調達する資金の具体的な使途」変更前の内容(上記の資金使途及び金額については、優先度の高いものより順に記載を行っています。)

ⁱ 2021年9月24日リリース <https://ssl4.eir-parts.net/doc/2370/tdnet/2026705/00.pdf>

「(開示事項の変更)第三者割当による新株予約権の発行に関する資金使途及び支出予定時期の変更について」

<変更後>

調達する資金の具体的な使途(変更箇所は下線)

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
(i) 再生医療等製品(ATL-DC-101)の開発費	3	2019年7月～2019年12月
(ii) 慢性心不全治療に用いる再生医療等製品の実用化に向けた共同研究費用	654	2020年1月～2022年9月
(iii) 再生医療等製品(糖鎖修飾改変T細胞等)の開発費	216	2019年7月～ <u>2026年3月</u>
合計	873	

上記(iii)への充当開始時期につきましては、当初は2019年7月を予定しておりましたが、研究活動による進捗遅れが発生したこと、また、2020年3月以降は、新型コロナウイルス感染症拡大によって一時的に中断、停滞等したことによる研究開発費の執行遅延等が発生しておりました。これまでに非臨床安全試験や再生医療等の安全性の確保等に関する法律に基づく臨床研究でその安全性を検討しましたが、今後更に品質に関する試験及び非臨床試験を実施する必要があるため、支出予定時期を延長するものです。

※第14回新株予約権は、170,000個(17,000,000株)全てが行使完了しており、873百万円の資金を調達しております。2023年2月28日現在において(i)3百万円、(ii)654百万円、(iii)106百万円をそれぞれ充当しており、支出していない資金110百万円については、実際に支出するまでの期間、銀行等の安全な金融機関において管理しております。

(2)第15回新株予約権

<変更前>

調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
(i) 慢性心不全治療に用いる再生医療等製品の実用化に向けた共同研究費用	226	2019年10月～2021年9月
(ii) 再生医療等製品(糖鎖修飾改変T細胞等)の開発費	172	2020年10月～2023年3月
合計	398	

※2021年9月開示において開示した「調達する資金の具体的な使途」変更前の内容(上記の資金使途及び金額については、優先度の高いものより順に記載を行っています。)

¹2021年9月24日リリース <https://ssl4.eir-parts.net/doc/2370/tdnet/2026705/00.pdf>

「(開示事項の変更)第三者割当による新株予約権の発行に関する資金使途及び支出予定時期の変更について」

<変更後>

調達する資金の具体的な使途(変更箇所は下線)

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
(i) 慢性心不全治療に用いる再生医療等製品の実用化に向けた共同研究費用	226	2019年10月～2021年9月
(ii) 再生医療等製品(糖鎖修飾改変T細胞等)の開発費	172	2020年10月～ <u>2026年3月</u>
合計	398	

上記(ii)への充当開始時期につきましては、当初は2020年10月を予定しておりましたが、研究活動による進捗遅れが発生したこと、また、2020年3月以降は、新型コロナウイルス感染症拡大によって一時的に中断、停滞等したことによる研究開発費の執行遅延等が発生しておりました。これまでに非臨床安全試験や再生医療等の安全性の確保等に関する法律に基づく臨床研究でその安全性を検討しましたが、今後更に品質に関する試験及び非臨床試験を実施する必要があるため、支出予定時期を延長するものです。

※第15回新株予約権は、70,000個(7,000,000株)全てが行使完了しており、398百万円の資金を調達しております。2023年2月28日現在において、(i)226百万円を充当しており、支出していない資金172百万円については、実際に支出するまでの期間、銀行等の安全な金融機関において管理しております。

2. 2022年12月開示において開示した「調達する資金の具体的な使途」の変更内容

第16回新株予約権

<変更前>

調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
(i) 難治性の消化器がんに対する新規の再生医療等製品(糖鎖修飾改変 T 細胞等)の開発に係る費用	551	2020年7月～2023年3月
(ii) 国立がん研究センターと共同研究する HSP105 の研究開発に係る費用	537	2020年7月～2023年3月
(iii) 京都府立医科大学と共同研究する BAR-T 技術の研究開発に係る費用	53	2020年7月～2022年12月
(iv) 慢性心不全治療に用いる再生医療等製品の実用化に向けた共同研究費	170	2022年12月～2023年3月
(v) 本社運転資金	152	2022年12月～2023年3月
合計	1,463	

※2022年12月開示において開示した「調達する資金の具体的な使途」変更前の内容(上記の資金使途及び金額については、優先度の高いものより順に記載を行っています。)

¹2022年12月23日リリース <https://ssl4.eir-parts.net/doc/2370/tdnet/2217941/00.pdf>

「(開示事項の変更)京都府立医科大学との共同研究の終了並びに第三者割当による新株予約権の発行に関する資金使途及び支出予定時期の変更について」

<変更後> 調達する資金の具体的な使途(変更箇所は下線)

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
(i) 難治性の消化器がんに対する新規の再生医療等製品(糖鎖修飾改変 T 細胞等)の開発に係る費用	551	2020年7月～ <u>2026年3月</u>
(ii) 国立がん研究センターと共同研究する HSP105 の研究開発に係る費用	537	2020年7月～ <u>2026年3月</u>
(iii) 京都府立医科大学と共同研究する BAR-T 技術の研究開発に係る費用	53	2020年7月～2022年12月
(iv) 慢性心不全治療に用いる再生医療等製品の実用化に向けた共同研究費	170	2022年12月～2023年3月
(v) 本社運転資金	152	2022年12月～2023年3月
合計	1,463	

上記(i)につきましては、充当開始時期につきましては、当初は2020年7月を予定しておりましたが、研究活動による進捗遅れが発生したこと、また、2020年3月以降は、新型コロナウイルス感染症拡大によって一時的に中断、停滞等したことによる研究開発費の執行遅延等が発生しておりました。これまでに非臨床安全試験や再生医療等の安全性の確保等に関する法律に基づく臨床研究でその安全性を検討しましたが、今後更に品質に関する試験及び非臨床試験を実施する必要があるため、支出予定時期を延長するものです。

(ii)につきましては、がん抗原たんぱく質 HSP105 に関連した新たながん免疫療法の開発において、目的とする免疫細胞の製造工程開発等の課題解決に時間を要しておりましたが、課題解決の目途が立ったため、支出予定時期を延長するものです。

※第16回新株予約権は、164,000個(16,400,000株)全てが行使完了しており、1,463百万円の資金を調

達しております。2023年2月28日現在において(i)は未充当であります、(ii)68百万円、(iii)53百万円、(iv)125百万円、(v)152百万円をそれぞれ充当しており、支出していない資金1,064百万円については、実際に支出するまでの期間、銀行等の安全な金融機関において管理しております。

3. 2020年8月開示において開示した「調達する資金の具体的な用途」の変更内容

(1)第17回新株予約権

<変更前>調達する資金の具体的な用途

具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
(i) 新型コロナウイルス感染症に対する自家樹状細胞ワクチン開発資金	1,933	2020年9月～2023年3月
合計	1,933	

[※]2020年8月21日リリース <https://ssl4.eir-parts.net/doc/2370/tdnet/1877757/00.pdf>

「第三者割当による第17回新株予約権(行使価額修正条項付)の発行に関するお知らせ」

<変更後>調達する資金の具体的な用途(変更箇所は下線)

具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
(i) 新型コロナウイルス感染症に対する自家樹状細胞ワクチン開発資金	<u>693</u>	2020年9月～2023年3月
(ii) <u>再生医療等製品の開発に係る費用</u>	<u>499</u>	<u>2023年4月～2026年3月</u>
合計	<u>1,192</u>	

上記(i)につきましては、2023年3月31日リリース「国立がん研究センターとの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の予防を目的とした自家樹状細胞ワクチンの開発に向けた共同研究の終了について」の通り、共同研究を終了し、開発を中止いたしました。

(ii)につきましては、今後着手する再生医療等製品の開発シーズへの充当を想定し、「再生医療等製品の開発に係る費用」として実際に支出するまでの期間、銀行等の安全な金融機関において管理いたします。

※第17回新株予約権は、190,000個(19,000,000株)全てが行使完了しており、1,192百万円の資金を調達しております。2023年2月28日現在において、(i)693百万円充当しており、支出していない資金499百万円については、実際に支出するまでの期間、銀行等の安全な金融機関において管理しております。

なお、本件による2023年9月期業績に与える影響は軽微であります。

以 上